

① これまでの課題の整理

1. 林業労働者の定着に向けて

- 林業に就業したものの、①他産業に比べ所得が低い、②季節雇用など不安定な雇用形態、③将来の職業生活がイメージできない等の不安を抱えており、このまま対策を講じなければ、離職などにより、今後、必要な技術が蓄積されず、国産材の安定供給や森林整備に支障が生じるおそれがある。
- このため、事業主自らが、まずは、事業量の確保や収益力の向上など「経営の安定化」に取り組むほか、①これらを現場で実践するために必要な技術等を労働者に段階的かつ体系的に習得させること、②人材育成の方針や労働者の業績・能力評価基準などの社内規定等を整備し、能力に応じた公正な処遇に努めることが重要である。
- しかし、公共事業に依存し、他産業と比較して雇用管理面で立ち後れている林業事業体にとっては、これまで経験のない取組であり、中小零細な事業体では、自力で評価基準等の整備は困難な状況にある。

<現 状>

<課 題>

<対 策>

